

## 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成19年8月10日

上場会社名 ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社 上場取引所 JQ  
 コード番号 3390 URL <http://www.u-s-systems.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口浩行  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 青木博之 TEL (03)3568-1305

(千円未満切捨て)

## 1. 平成20年3月期第1四半期の業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年6月30日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
20年3月期第1四半期	533,173	△24.7	△158,425	—	△160,358	—	△162,628	—
19年3月期第1四半期	707,897	—	△68,227	—	△71,070	—	△42,561	—
(参考) 19年3月期	2,512,169		△316,109		△327,856		△363,383	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	△2,768	89	—	—
19年3月期第1四半期	△724	65	—	—
(参考) 19年3月期	△6,186	93	—	—

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	千円		千円		%	円	銭	
20年3月期第1四半期	1,816,660		1,123,938		61.9	19,136	08	
19年3月期第1四半期	2,303,093		1,607,387		69.8	27,367	24	
(参考) 19年3月期	1,989,922		1,286,566		64.7	21,904	97	

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	千円		千円		千円		千円	
20年3月期第1四半期	△57,824		△48,374		△34,260		497,941	
19年3月期第1四半期	231,454		△83,209		△19,981		1,020,866	
(参考) 19年3月期	138,730		△267,722		△125,208		638,401	

## 2. 平成20年3月期の業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	円	銭
中間期	1,324,949	△1.2	△155,259	—	△158,686	—	△160,386	—	△2,730	71
通期	3,186,630	26.8	87,782	—	80,928	—	77,528	—	1,319	98

## 3. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国経済の減速や原油価格の高騰等、懸念材料があったものの、企業収益が引き続き改善傾向にあり、それに伴い設備投資の増加、個人消費の緩やかな改善などにより、総じて緩やかな回復基調で推移しました。

情報サービス業界におきましては、国内経済の回復を背景にIT関連の設備投資需要は堅調に推移する一方で、顧客の投資効果の追及は従来以上に厳しさを増しております。

このような状況の中、当社は「社会にとって真に価値あるソリューションを」という経営理念の下、主力のASP事業において経営資源の選択と集中を行い「ソリューションシステムアウトソーシング事業への回帰」「メディカル・ケアソリューション事業への注力」「セキュリティ関連ソリューション事業の再構築」を今期の戦略として業容の拡大、業績の向上に取り組んでまいりました。

基幹事業分野のソリューションシステムアウトソーシング事業はパッケージソフトウェアの提供と異なり、当社のユニバーサルプラットフォーム上に顧客毎にソリューションシステムを構築いたします。この結果、システムリリースが顧客の事業年度末である3月頃(当社第4四半期)に集中する傾向にあり、当社の売上及び利益は第4四半期に偏重する傾向があります。

新規事業分野であるメディカル・ケアソリューション事業は、主力の販売ルートとして期初より見込んでおりました販売パートナーとの協業体制が整いつつあります。またセキュリティ関連ソリューション事業につきましては、特定業務ソリューションの提供を軸に事業を再構築しパートナーの開拓を進めてまいりました。

eコマース事業におきましては、商流を漸次専門の商社に移管し、売上をシステム利用料収入に切り替えていることから、前年度に比べ売上高は減少しておりますが、利益に与える影響は軽微であります。

以上の結果、当第1四半期における売上高は533,173千円(期初予想 499,573千円 予想比6.7%増)となり、営業利益は△158,425千円(期初予想 △207,303千円 予想比23.6%改善)、経常利益は△160,358千円(期初予想 △209,016千円 予想比23.3%改善)、四半期(当期)純利益は△162,628千円(期初予想 △209,866千円 予想比22.5%改善)、となりました。

各項目とも期初の第1四半期業績予想を上回る結果を達成いたしました。これは、売上増およびコスト削減が順調に推移したことによるものと考えております。また、今期は前期からのマイナス基調から業績回復に向けた過渡期にありますため、当社の業績目標も下期に向けてより高い数値目標を設定しておりますが、この目標を達成するため今後より一層の経営努力を行ってまいります。

事業部門別の売上高につきましては、ASP事業は269,806千円、eコマース事業は263,367千円となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

## (1) 財政状態

## (流動資産)

当第1四半期末における流動資産は、前事業年度末と比べ163,628千円減少し、873,454千円となりました。その主な要因は、現預金の減少140,460千円、未収消費税の減少16,776千円および売掛金の減少11,208千円であります。

## (固定資産)

当第1四半期末における固定資産は、前事業年度末と比べ9,059千円減少し、941,125千円となりました。その主な要因は、システムの増強によるソフトウェアの増加3,688千円、のれんの償却による減少6,000千円および長期前払費用の減少4,956千円によるものです。

## (流動負債)

当第1四半期末における流動負債は、前事業年度末と比べ1,234千円増加し、424,907千円となりました。その主な要因は、買掛金の減少15,637千円、未払金の減少4,927千円、未払費用の増加36,150千円および賞与引当金の減少15,066千円によるものです。

## (固定負債)

当第1四半期末における固定負債は、前事業年度末と比べ11,868千円減少し、267,814千円となりました。その主な要因は、長期未払金の減少7,350千円および長期借入金の減少3,486千円によるものです。

## (純資産)

当第1四半期末における純資産は、前事業年度末と比べ162,628千円減少し、1,123,938千円となりました。その主な要因は、損失計上による利益剰余金の減少162,628千円によるものです。

(2) キャッシュ・フロー

当第1四半期におけるキャッシュ・フローについては、営業活動により57,824千円使用、投資活動により48,374千円使用、財務活動により34,260千円支出し、その結果使用した資金は140,460千円となり、当第1四半期末残高は497,941千円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果使用した資金は、57,824千円となりました。これは主に税引前四半期純損失の計上161,811千円、減価償却費の計上46,467千円、夏季賞与の未払費用の増加34,351千円などによるものです。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動に使用した資金は、48,374千円となりました。これは主にソフトウェアの取得による支出32,513千円、ソフトウェアの製作による支出15,302千円によるものです。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果支出した資金は、34,260千円となりました。これは主に未払金の返済による支出30,774千円などによるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

情報サービス産業分野につきましては、価格競争をはじめ依然として厳しい状況が続いているものの、業務効率化や情報漏洩対策など、各企業のITシステムに対するニーズはますます多様なものとなっており、これらに対する開発・サービスの需要は堅調に推移するものと見込まれます。

なお当第1四半期の業績は概ね当初の計画どおりに推移しておりますので、現時点での業績予想につきましては、平成19年5月9日発表の中間及び通期の業績予想に変更はございません。

#### 4. その他

##### (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

##### (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

当期より法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降取得した有形固定資産については、改正法人税法に規定する減価償却費を計上しております。

また、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産のうち償却可能額までの償却が終了しているものについては、残存簿価を5年で均等償却しております。

なお、これらの変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

#### 5. (要約) 四半期財務諸表

- (1) (要約) 四半期貸借対照表
- (2) (要約) 四半期損益計算書
- (3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書
- (4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書
- (5) セグメント情報

## 5. (要約) 四半期財務諸表

## (1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
	〔平成19年3月期〕 第1四半期末	〔平成20年3月期〕 第1四半期末	金 額	増減率	(平成19年3月 期末) 金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>I 流動資産</b>					
1 現金及び預金	1,020,866	497,941	△522,924	△51.2	638,401
2 売掛金	282,394	278,831	△3,562	△1.3	290,040
3 たな卸資産	7,486	10,065	2,578	34.4	10,066
4 前払費用	48,019	87,181	39,162	81.6	90,854
5 繰延税金資産	60,458	—	△60,458	—	—
6 未収入金	36,096	22,400	△13,696	△37.9	—
7 その他	7,543	6,147	△1,395	△18.5	35,932
8 貸倒引当金	△42,363	△29,113	13,249	△31.3	△28,212
流動資産合計	1,420,502	873,454	△547,048	△38.5	1,037,083
<b>II 固定資産</b>					
1 有形固定資産					
(1) 建物	11,758	25,097	13,338	113.4	26,020
(2) 構築物	111	93	△17	△16.2	97
(3) 工具器具備品	17,943	14,554	△3,388	△18.9	15,129
有形固定資産合計	29,813	39,744	9,931	33.3	41,247
2 無形固定資産					
(1) 営業権	42,000	—	△42,000	—	—
(2) のれん	—	18,000	18,000	—	24,000
(3) ソフトウェア	447,015	499,432	52,417	11.7	495,744
(4) ソフトウェア仮勘定	—	22	22	—	—
(5) 電話加入権	1,624	1,624	0	0.0	1,624
(6) その他	131	106	△24	△18.7	112
無形固定資産合計	490,771	519,186	28,415	5.8	521,481
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	250,785	250,785	0	0.0	250,785
(2) 従業員長期貸付金	422	422	0	0.0	422
(3) 長期前払費用	7,155	37,997	30,842	431.0	42,954
(4) 繰延税金資産	2,397	—	△2,397	—	—
(5) 敷金・保証金	93,534	92,987	△547	△0.6	93,293
投資その他の資産合計	354,296	382,193	27,897	7.9	387,456
固定資産合計	874,881	941,125	66,244	7.6	950,185
<b>III 繰延資産</b>					
1 新株発行費	5,410	2,080	△3,329	△61.5	2,654
2 社債発行費	2,300	—	△2,300	—	—
繰延資産合計	7,710	2,080	△5,629	△73.0	2,654
資産合計	2,303,093	1,816,660	△486,433	△21.1	1,989,922

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
	〔平成19年3月期〕 第1四半期末	〔平成20年3月期〕 第1四半期末	金 額	増減率	(平成19年3月 期末) 金 額
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
1 買掛金	234,794	162,197	△72,596	△30.9	177,835
2 一年内返済予定長期借入金	43,944	13,944	△30,000	△68.3	13,944
3 未払金	155,093	189,178	34,085	22.0	194,106
4 未払費用	12,136	44,796	32,659	269.1	8,645
5 未払法人税等	1,793	1,559	△233	△13.0	3,384
6 未払消費税等	3,603	1,174	△2,429	△67.4	—
7 預り金	6,464	6,419	△44	△0.7	5,054
8 賞与引当金	4,912	5,637	725	14.8	20,703
流動負債合計	462,742	424,907	△37,834	△8.2	423,673
<b>II 固定負債</b>					
1 社債	200,000	200,000	0	0.0	200,000
2 長期借入金	18,626	4,682	△13,944	△74.9	8,168
3 退職給付引当金	5,891	5,506	△385	△6.5	6,537
4 長期末払金	—	57,626	57,626	—	64,977
5 その他	8,446	—	△8,446	—	—
固定負債合計	232,963	267,814	34,850	15.0	279,682
負債合計	695,706	692,722	△2,984	△0.4	703,355
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
1 資本金	915,900	915,900	0	0.0	915,900
2 資本剰余金	522,950	522,950	0	0.0	522,950
3 利益剰余金	168,537	△314,911	△483,449	—	△152,283
株主資本合計	1,607,387	1,123,938	△483,449	△30.1	1,286,566
純資産合計	1,607,387	1,123,938	△483,449	△30.1	1,286,566
負債、純資産合計	2,303,093	1,816,660	△486,433	△21.1	1,989,922

## (2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成 19 年 3 月期〕 第 1 四半期	当四半期 〔平成 20 年 3 月期〕 第 1 四半期	増 減		(参考) 前期 (平成 19 年 3 月 期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>I 売上高</b>	707,897	533,173	△174,723	△24.7	2,512,169
<b>II 売上原価</b>	574,380	490,006	△84,373	△14.7	2,049,360
売上総利益	133,517	43,167	△90,349	△67.7	462,808
<b>III 販売費及び一般管理費</b>	201,745	201,592	△152	△0.1	778,917
営業損失	68,227	158,425	90,197	—	316,109
<b>IV 営業外収益</b>	47	308	260	553.6	1,049
<b>V 営業外費用</b>	2,890	2,242	△648	△22.4	12,796
経常損失	71,070	160,358	89,288	—	327,856
<b>VI 特別利益</b>	818	—	△818	—	4,229
<b>VII 特別損失</b>	—	1,452	1,452	—	2,044
税引前四半期(当期)純損失	70,252	161,811	91,559	—	325,671
税金費用	△27,690	816	28,507	—	37,711
四半期(当期)純損失	42,561	162,628	120,066	—	363,383

## (3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書

当第1四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位: 千円)

項目	株 主 資 本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		
平成19年3月31日 残高	915,900	522,950	△152,283	1,286,566	1,286,566
第1四半期会計期間中の変動額					
第1四半期純損失	—	—	△162,628	△162,628	△162,628
第1四半期会計期間中の変動額合計	—	—	△162,628	△162,628	△162,628
平成19年6月30日 残高	915,900	522,950	△314,911	1,123,938	1,123,938

前期 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位: 千円)

項目	株 主 資 本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		
平成18年3月31日 残高	915,900	522,950	211,099	1,649,949	1,649,949
事業年度中の変動額					
当期純損失	—	—	△363,383	△363,383	△363,383
事業年度中の変動額合計	—	—	△363,383	△363,383	△363,383
平成19年3月31日 残高	915,900	522,950	△152,283	1,286,566	1,286,566

## (4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考) 平成19年3月期
	金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税引前四半期(当期)純損失(△)	△70,252	△161,811	△325,671
減価償却費	36,737	46,467	165,615
新株発行費償却	885	573	3,641
社債発行費償却	766	—	3,066
リース解約損	—	1,176	1,960
固定資産除却損	—	—	83
貸倒引当金の増加額(△減少額)	△818	901	△14,969
賞与引当金の増加額(△減少額)	△16,325	△15,066	△534
退職給付引当金の増加額(△減少額)	△1,082	△1,031	△437
受取利息及び受取配当金	△0	—	△475
支払利息	1,237	1,668	6,088
売上債権の減少額(△増加額)	428,197	11,208	420,550
たな卸資産の減少額(△増加額)	△7,486	0	△10,066
仕入債務の増加額(△減少額)	△118,291	△15,637	△175,250
未払金の増加額(△減少額)	68,479	△4,409	156,611
その他の資産の減少額(△増加額)	624	45,341	13,327
その他の負債の増加額(△減少額)	△22,878	38,417	△30,872
小 計	299,792	△52,199	212,669
利息及び配当金の受取額	0	—	475
利息の支払額	△1,552	△2,402	△6,091
リース解約による支出	—	△1,588	△1,549
法人税等の支払額	△66,785	△1,633	△66,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	231,454	△57,824	138,730

	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考) 平成19年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△359	△864	△19,358
ソフトウェアの取得による支出	△68,663	△32,513	△198,731
ソフトウェアの製作による支出	△14,553	△15,302	△50,280
貸付金の回収による収入	34	—	74
敷金・保証金の減少額(△増加額)	332	306	573
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,209	△48,374	△267,722
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
長期借入金の返済による支出	△13,486	△3,486	△53,944
未払金の返済による支出	△3,139	△30,774	△66,828
株式の発行による支出	△3,097	—	△4,177
上場関連の支出	△258	—	△258
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,981	△34,260	△125,208
<b>IV 現金及び現金同等物の増加額</b>	128,263	△140,460	△254,201
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	892,602	638,401	892,602
<b>VI 現金及び現金同等物の期末残高</b>	1,020,866	497,941	638,401

## (5) セグメント情報

## 販売の状況

## ①販売実績

(単位:千円)

区 分	前年同四半期 自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日		当四半期 自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日		(参考) 平成19年3月期 自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
A S P事業	311,033	43.9	269,806	50.6	1,265,475	50.4
eコマース事業	396,864	56.1	263,367	49.4	1,246,693	49.6
合 計	707,897	100.0	533,173	100.0	2,512,169	100.0

(注) 1、本表の金額には、消費税等は含まれておりません。